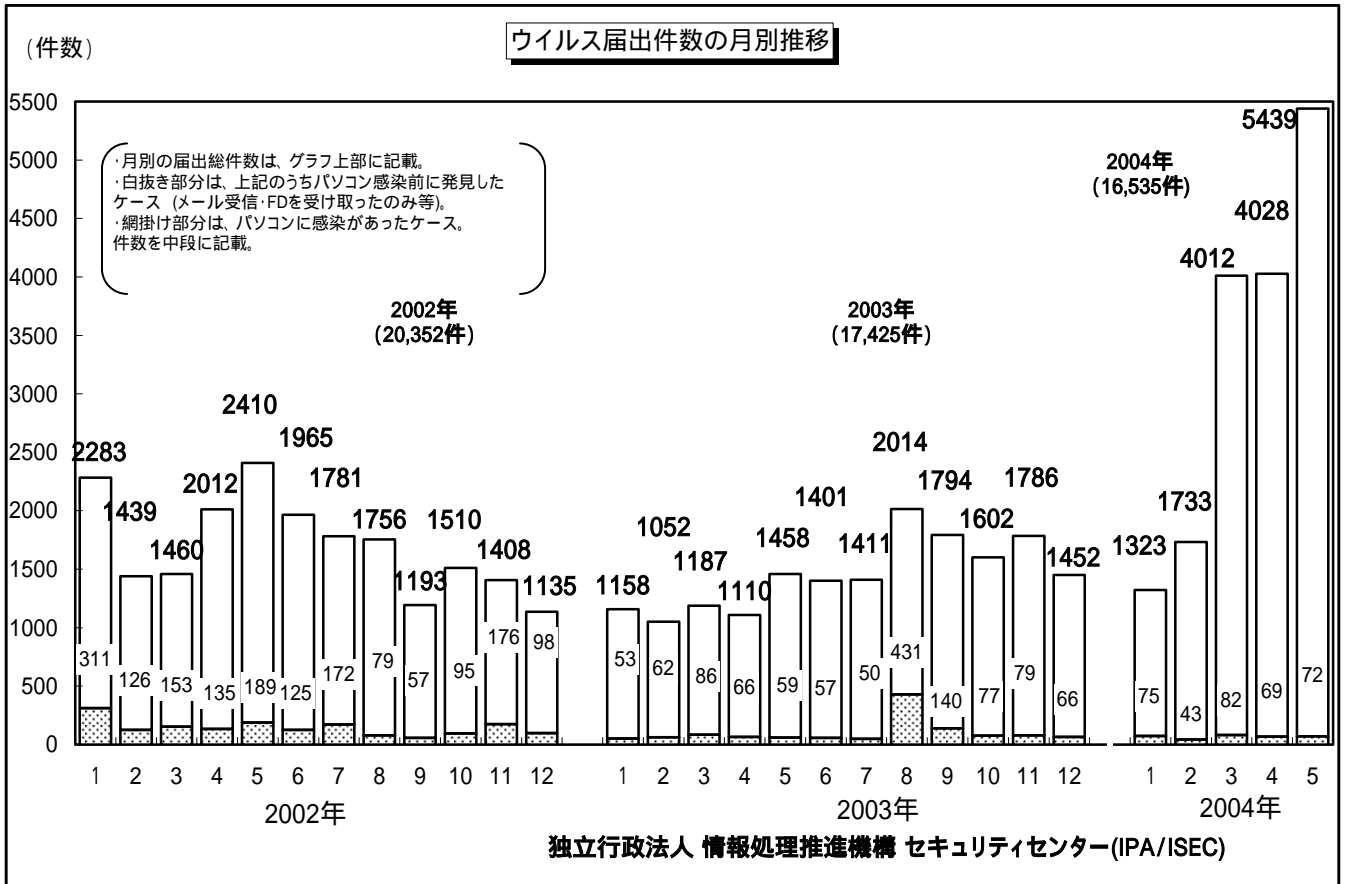


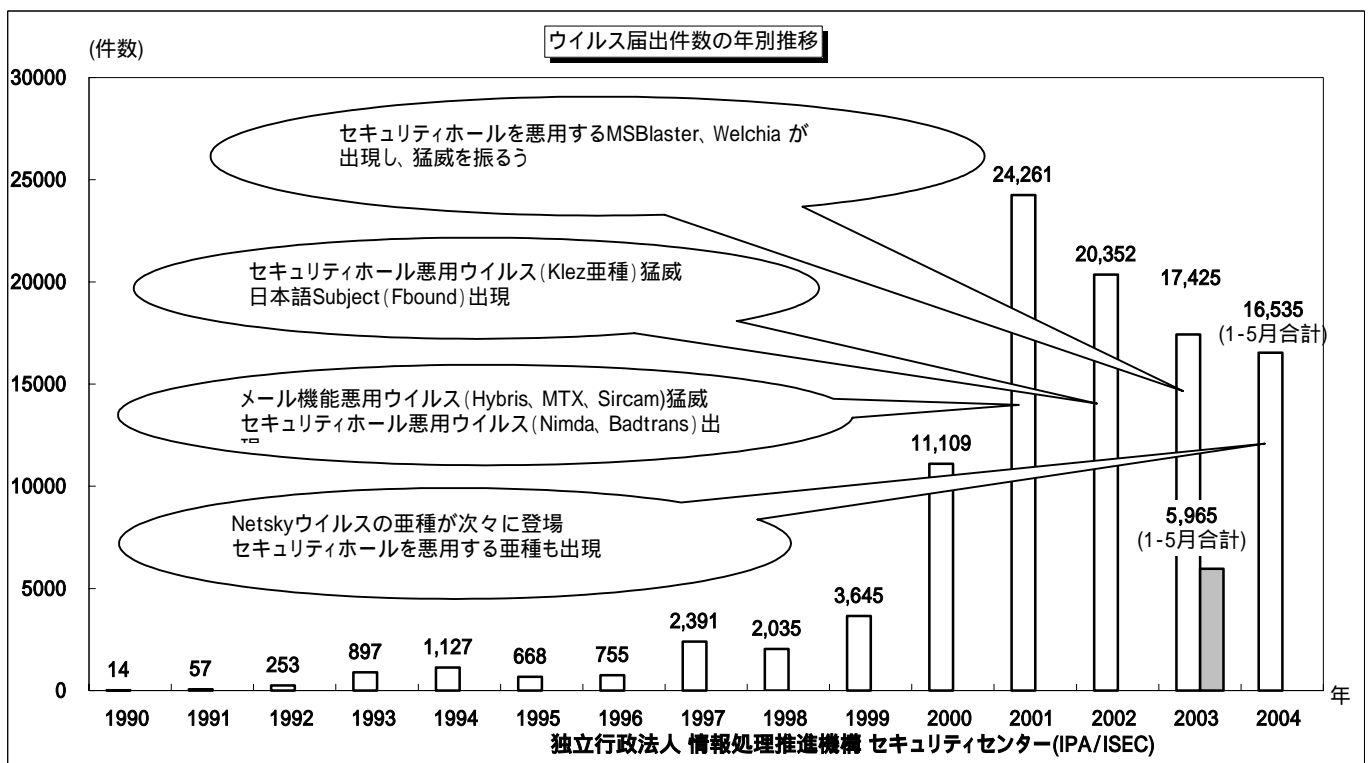
コンピュータウイルスの届出状況について [詳細]

・ ウイルス届出の詳細

1. ウイルス届出件数の月別推移



2. ウイルス届出件数の年別推移



3. 5月の届出ウイルス

ウイルスの種類は74種類で、Windows/DOSウイルス5,223件、マクロウイルス及びスクリプトウイルス216件でした。

) Windows

()印は、今月の新種ウイルスを示す。

Windows/DOSウイルス	届出件数	マクロウイルス	届出件数
W32/Netsky	1,984	XM/Laroux	21
W32/Bagle	464	W97M/X97M/P97M/Tristate	4
W32/Klez	383	X97M/Poorboy ()	4
W32/Lovgate	268	W97M/Marker	3
W32/Mydoom	256	X97M/Divi	3
W32/Swen	218	X97M/Pink	3
W32/Bugbear	194	W97M/X97M/Toraja ()	2
W32/Mimail	145	WM/Cap	1
W32/Sober	145	W97M/Bablas	1
W32/Fizzer	110	W97M/Opey	1
W32/Valla	100	W97M/Thus	1
W32/Dumaru	86	小計	44
W32/Parite	82		
W32/Funlove	78		
W32/Hybris	76		
W32/Yaha	74		
W32/Spaces	70	スクリプトウイルス	届出件数
W32/Mywife	65	VBS/Redlof	134
W32/Welchia	59	Wscript/Fortnight	21
W32/Sobig	51	Wscript/Kakworm	9
W32/Magistr	40	VBS/LOVELETTER	3
W32/Badtrans	37	VBS/Netlog	2
W32/Sasser ()	29	VBS/Haptime	1
W32/Nimda	27	VBS/Lisa ()	1
WYX	23	VBS/SST	1
W32/Ganda	17	小計	172
W32/Gaobot	15		
W32/Gibe	12		
W32/MTX	10) Macintosh	
W32/Ska	10	なし	
W32/Torvil	10		
W32/Sircam	8) OSS (OpenSourceSoftware)	
W32/Antinny	7	なし	
W32/Lovelorn	7		
W32/Mumu	7		
W32/Chir	6		
W32/Mofei	6		
W32/Bobax ()	5		
W32/MSBlaster	5		
Form	4	注：	
W32/CIH	4	Windows/DOSウイルス	
W32/Inor	4	Windows、MS-DOS環境下で動作するウイルス。	
W32/Opaserv	4	マクロウイルス	
W32/Randex	4	MS-WORDやMS-EXCELなどのマクロ機能を	
W32/Fbound	3	悪用するウイルス。	
W32/Tenrobot	2	スクリプトウイルス	
Cascade	1	機械語への変換作業を省略して実行できるよう	
W32/Aliz	1	にした簡易プログラムで記述されたウイルス。	
W32/CodeRed	1		
W32/Dupator	1		
W32/Goner	1		
W32/Hawawi	1		
W32/Kriz	1		
W32/Resdoc ()	1		
W32/Wukill ()	1		
小計	5,223		

備考：件数には亜種の届出を含む

注) ウイルス名欄での各記号はそれぞれ下記の内容を示す。

記号	対象ウイルス
W32	Windows32 ビット環境下で動作
XM	MSEXCEL95、97 (ExcelMacro の略)
W97M/X97M/P97M	MSWORD97、MSEXCEL97、MSPowerpoint97 (Word97Macro/Excel97Macro/PowerPoint97Macro の略)
W97M	MSWORD97 (Word97Macro の略)
X97M	MSEXCEL97 (Excel97Macro の略)
W97M/X97M	MSWORD97、MSEXCEL97 (Word97Macro/Excel97Macro の略)
VBS	VisualBasicScript で記述
Wscript	WindowsScriptingHost 環境下で動作 (VBS を除く)

4. 5月にIPAに初めて届出のあったウイルスの概要

(1) W32/Sasser (サッサー)

このワームは、Windows の脆弱性[MS04-011]が存在するパソコンに感染します。

インターネットに接続されたパソコンをターゲットに、ポート 445 を通じて侵入し、ワーム本体をコピーして実行することで感染します。感染すると、レジストリを変更され、Windows の起動時に必ずワームが実行されるようになります。また、感染対象のコンピュータを任意に検索し、感染拡大を試みます。

亜種によっては、標的とするパソコンを発見するため、ICMP エコーパケットを送信する可能性があります。

(2) W32/Bobax (ボボックス)

このワームは、Windows の脆弱性[MS04-011]が存在するパソコンに感染します。

インターネットに接続された Windows XP のパソコンを検索するために、ポート 5000 へアクセスします。ターゲットを特定すると、ポート 445 を通じて侵入し、ワーム本体をコピーして実行することで感染します。

感染すると、レジストリを変更され、Windows の起動時に必ずワームが実行されるようになります。また、感染対象のコンピュータを任意に検索し、感染拡大を試みます。

さらに、感染したパソコンに外部から侵入できるように、バックドア (裏口) を作成します。

(3) W32/Rasdoc (レスドック)

このウイルスは、メールの添付ファイルを介して感染拡大を試みます。感染すると、自分自身のコピーを system フォルダに SYSTEM.BAT として作成します。さらに、レジストリファイルを変更することによって、Windows の起動時に必ずウイルスが実行されるように設定します。

(4) W32/Wukill (ウーキル)

このウイルスは、メールの添付ファイルを介して感染拡大を試みます。感染すると、自分自身のコピーを Windows フォルダに MSTRAY.EXE として作成します。さらに、レジストリファイルを変更することによって、Windows の起動時に必ずウイルスが実行されるように設定します。

また、アドレス帳に登録されたメールアドレスすべてに対して、ウイルスを添付したメールを送信します。

(5) X97M/Poorboy (プアボーイ)

このウイルスは、Microsoft の Excel ファイルに感染するマクロウイルスです。
感染すると、Excel を起動したときにウイルス自身が追記され、Excel ファイルに感染が拡大します。

(6) W97M/X97M/Toraja (トラジャ)

このウイルスは、Microsoft の Word および Excel のファイルに感染するマクロウイルスです。
感染すると、Word ファイルの場合は、最初の 11250 文字を削除し、Excel ファイルの場合は、セルの A1-J17 上にあるデータが削除されます。

(7) VBS/Lisa (リサ)

このウイルスは、メールおよびファイル共有アプリケーションの KaZaAなどを介して感染拡大を試みます。感染すると、自分自身のコピーを Windows フォルダにランダムなファイル名で作成します。さらに、レジストリファイルを変更することによって、Windows の起動時に必ずウイルスが実行されるように設定します。

また、アドレス帳に登録されたメールアドレスすべてに対して、ウイルスを添付したメールを送信し、拡張子が VBS、VBE のファイルに自身を追記することで感染します。Word のファイルを削除するという発病もあります。

5. 届出者別件数

一番多い届出は、一般法人ユーザからのもので、約 82%を占めています。

届出者	届出件数					
	2004年5月		2004年4月		2003年5月	
一般法人ユーザ	4,467	82.1%	3,146	78.1%	1,280	87.8%
個人ユーザ	505	9.3%	458	11.4%	80	5.5%
教育・研究機関	467	8.6%	424	10.5%	98	6.7%

6. 地域別件数

関東地方が最も多く、続いて中部地方、近畿地方の順となっています。

地域	届出件数					
	2004年5月		2004年4月		2003年5月	
北海道地方	23	0.4%	35	0.9%	3	0.2%
東北地方	70	1.3%	74	1.8%	26	1.8%
関東地方	4,268	78.5%	2,770	68.8%	991	68.0%
中部地方	387	7.1%	474	11.8%	141	9.7%
近畿地方	590	10.8%	450	11.2%	224	15.4%
中国地方	53	1.0%	191	4.7%	8	0.5%
四国地方	25	0.5%	12	0.3%	3	0.2%
九州地方	23	0.4%	22	0.5%	62	4.3%

7. 感染経路別件数

メールにより感染したケースが最も多く、届出件数の約98%を占めています。

感 染 経 路	届 出 件 数					
	2004年5月		2004年4月		2003年5月	
メール	5,311	97.6%	3,990	99.1%	1,391	95.4%
外部からの媒体	2	0%	11	0.3%	17	1.2%
ダウンロード()	11	0.2%	5	0.1%	19	1.3%
ネットワーク	91	1.7%	14	0.3%	0	0%
不明・その他	24	0.4%	8	0.2%	31	2.1%

()ホームページからの感染を含む

8. 感染台数

感 染 台 数	届 出 件 数					
	2004年5月		2004年4月		2003年5月	
0台	5,367	98.7%	3,959	98.3%	1,399	96.0%
1台	52	1.0%	41	1.0%	46	3.2%
2台以上 5台未満	7	0.1%	11	0.3%	10	0.7%
5台以上 10台未満	4	0.1%	11	0.3%	2	0.1%
10台以上 20台未満	0	0%	4	0.1%	0	0%
20台以上 50台未満	4	0.1%	0	0%	0	0%
50台以上	5	0.1%	2	0%	1	0.1%

・コンピュータウイルスに関する届出制度について

コンピュータウイルスに関する届出制度は、経済産業省のコンピュータウイルス対策基準に基づき、平成2年4月にスタートした制度であって、コンピュータウイルスを発見したものは被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報をIPAに届け出ることとされています。

IPAでは、個別に届出者への対応を行っていますが、同時に受理した届出等を基に、コンピュータウイルス対策を検討しています。また受理した届出は、届出者のプライバシーを侵害することがないように配慮した上で、被害等の状況を分析し、検討結果を定期的に公表しています。

コンピュータウイルス対策基準

- ・通商産業省告示第139号 平成2年4月10日制定
- ・通商産業省告示第429号 平成7年7月7日改訂
- ・通商産業省告示第535号 平成9年9月24日改訂
- ・通商産業省告示第952号 平成12年12月28日改訂
- ・経済産業省告示第2号 平成16年1月5日改訂

お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター

Tel:03-5978-7508 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp